

新型コロナウイルス感染症の高齢者に対する影響と今後の対応について

高齢者は、新型コロナウイルス感染症（以下、新型コロナ）に感染した場合、重症化しやすいと言われており、また、感染予防のために外出を控えることで、身体の活動量が減少し、転倒や骨折のリスクが増加するとともに、要介護状態に至りやすくなっていると言われていています。

また、介護事業所等の運営において、新型コロナの感染が疑われる入所者等への対応や利用状況や事業収入への影響等、サービスを実施する中での対応など、多岐に渡る影響が出ていると思われれます。

8期計画の策定に向けて、新型コロナの高齢者に対する影響と今後の対応を踏まえた議論を行うために、今回、協議会の委員の皆様より、下記の項目について、それぞれの団体・事業所等における取組状況等を踏まえた協議をお願いいたします。

記

（協議項目）

1. 各団体の活動や事業所の運営にあたって、新型コロナの影響
2. 各団体の活動や事業所の運営にあたって、新型コロナ対応と課題
3. 各団体の活動や事業所の運営の継続にあたって、新しい生活様式への対応等も踏まえた、新型コロナ対応に必要と思われる新たな取り組み
4. 市の高齢者福祉行政、介護保険行政を進めるにあたって、新しい生活様式への対応等も踏まえた、新型コロナ対応に必要と思われる新たな取り組み